

ダクト用システム部材

丸形フード ドーム形 防火ダンパー付丸形フード ドーム形 取付工事・取扱説明書

この製品は、三菱ダクト用換気扇をダクト配管して給気・排気をする場合に屋外側のダクト先端に取付けて使用するものです。

防火ダンパー付丸形フード ドーム形は、ダクト配管を通して火災の広がるのを防止する構造になっています。

- 防火ダンパーの使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。
- 取付工事を始める前に説明書をよくお読みになり、正しく安全に取付けてください。
- 取付工事は販売店・工事店さまが実施してください。

取付工事終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

- ご使用前に説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
なお、お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。

丸形フード ドーム形			
	ステンレス製	アルミ製	適用口径
標準形	P-13DFS	P-13DFA	φ100
	P-18DFS	P-18DFA	φ150
防虫形	P-13DFSQ	P-13DFAQ	φ100
	P-18DFSQ	P-18DFAQ	φ150

- 適用ダクトの種類
スパイラルダクト・フレキシブルダクト・塩ビ管(VU)、(VP) [塩ビ管(VP)はP-18(φ150)には接続不可]

防火ダンパー付丸形フード ドーム形			
	ステンレス製	アルミ製	適用口径
標準形	P-13DFSD-BL	P-13DFAD	φ100
	P-18DFSD-BL	P-18DFAD	φ150
	P-18DFSDK	P-18DFADK	φ150
防虫形	P-13DFSDQ-BL	P-13DFAQD	φ100
	P-18DFSDQ-BL	P-18DFAQD	φ150

安全のために必ず守ること

- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で説明しています。

警告 誤った取扱いをしたときに死亡または重傷などに結びつく可能性のあるもの

禁止 防火ダンパーを密閉または、半密閉の燃焼設備（給湯機・風呂釜など）の排気ダクトには使用しない（誤動作によりダンパーが閉じて排気ガスが逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります）

注意 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止

- 下水の排気口には接続しない（腐食によりフードが落下する恐れがあります）
- 塩害・海岸地区では指定色塗装品（受注品）以外は使用しない（腐食によりフードが落下する恐れがあります）

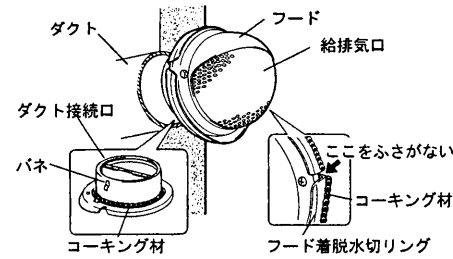
指示に従い必ず行う

- 取付けは確実に行う（落下によりけがをする恐れがあります）
- 取扱い時、手袋を着用する（端面などでけがをすることがあります）

取付け前のお願い

- 点検・清掃や温度ヒューズの交換が容易にできる場所へ取付けてください。
- ダクトは、配管長さ2m以上で1/100の傾斜が必要です。給気として使用する場合は、1/30の傾斜が必要です。
- バネによる取付けに支障がないようダクトが外壁まで配管してあるか確認してください。

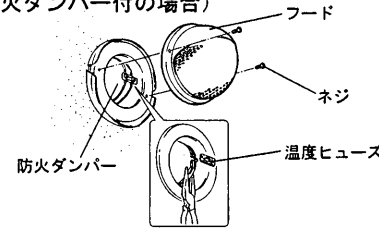
取付方法



1. 丸形フードを取付ける前に、市販のコーキング材でダクト接続口に防水処理を施す。
2. 給排気口を下側に向けて、外壁面まで配管されたダクトに差し込む。（パネにより固定されます）
3. フードの全周と壁面とのすき間に、市販のコーキング材で防水処理を施す。
●フード着脱水切リングの中央切欠き部を、コーキング材でふさがないでください。

温度ヒューズの交換

（防火ダンパー付の場合）……販売店・工事店に依頼してください。



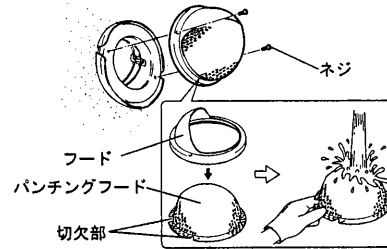
1. ネジ(2本)をはずしフードをはずす。
2. 両方の防火ダンパーをはさみ、温度ヒューズをセットする。（ラジオペンチ等を使用してください）
3. フードを元通り取付ける。

お願い

- ネジの締付トルクはステンレス製の場合140N・cm以下、アルミ製の場合50N・cm以下としてください。

お手入れと点検

……防虫形は約3か月に1度を目安にお手入れをする。



1. ネジ(2本)をはずしフードをはずす。
2. フードからパンチングフードをはずす
3. フードとパンチングフードは中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸してからきれいな水で洗いよく乾かす。
4. フードにパンチングフードを合わせてから元通り取付ける。
●ステンレス製の場合は取付けたときパンチングフードの切欠部が上側になるようフードに合わせてください。

お願い

- ネジの締付トルクはステンレス製の場合140N・cm以下、アルミ製の場合50N・cm以下としてください。
- お手入れに下記の溶剤等を使用しないでください。
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンジン等けんま材入りの洗剤（変質・変色する原因になります）

点検

点検は1年に1回を目安に次の確認をする。

- フードにサビ等の腐食がないか？
- 取付状態はフードが傾いたり、壁とのすき間が生じてないか？
- 周囲のコーキング材がはがれていないか？